
赤と青の神話 一章

深江 碧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

赤と青の神話 一章

【Nコード】

N7556X

【作者名】

深江 碧

【あらすじ】

地上に生まれ変わった水の女神は、化け物の姿で、深い森の中に住んでいた。

近隣を治める王は、彼女を討伐しようとする人もの兵を森へ送ったが、誰も彼女を倒せるものはいなかった。

そんなとき、三人の若者が現れ、化け物を退治しようとする名乗りを上げる。

王は喜び、見事化け物を倒したのものには、自分の娘である姫と結婚させようと言った。

「赤と青の神話 序章」の続きです。
長くなりそうなので、「一章」として区切っています。
よろしく願います。

一章 森の化け物

一章 森の化け物

彼女は世界にあるすべてのものが憎く、地上に生きるすべての生き物が恨めしかった。

木々の間から差し込む木漏れ日も、湖面を吹き渡る風も、岸边に打ち寄せるさざ波さえも、何もかもが嫌で仕方がなかった。

彼女は特に森に住む生き物やそのそばに住む人間が嫌いだった。

空高くさえずる小鳥も、木のうろに住む子鹿も、湖でゆったりと泳ぐ魚も、畑を耕す村の親子も、彼女にとっては目障りで仕方なかった。

暗く冷たく静かな世界。

彼女はそんな世界を望んでいた。

彼女のそんな思いからだろうか。

いつしか彼女の住む森は木々が高く生い茂り、小川の水は濁り、臭気を放つようになった。

近隣の村々の井戸は枯れ、土はぬかるみ、畑の作物は育たなくなつた。

村人達は住み慣れた村を捨て、移住せざるをえなくなつた。

人の住まなくなつた村々は、木々に飲み込まれ、暗い森の一部となつていった。

その地方を治める南の王は、作物が出来なくなつた原因を突き止めようと、幾人もの人々を森に遣わした。

しかし、誰一人として戻ってきた者はいなかった。

そのうちに、その森には恐ろしい化け物が住むという噂がどこからかさやかれ始めた。

困り果てた王は、土地が腐る原因を突き止め、見事化け物を退治してきた者には、莫大な財宝と自分の娘であるフィエルナ姫を与えようとお触れを出した。

腕に覚えのある者達が集まり、暗い森に次々と挑んでいったが、無事に戻ってくる者はいなかった。

ある者は腕を、ある者は足を失い、息も絶え絶えに戻ってきた。戻ってきた者達は、口をそろえて森に住む化け物のことを語った。人々はますます恐れて、一年もすると森へ行こうという者は誰もいなくなった。

ある日、王の元に三人の若者がやってきた。

森の化け物を退治しようという若者三人に、王は喜び祝宴を開いてもてなした。

祝宴には数頭の子牛の丸焼きや森の果実、川魚などの料理が並べられ、広間は数百本のロウソクの灯りで真昼のように照らし出された。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7556x/>

赤と青の神話 一章

2011年10月20日08時21分発行